

授業科目名	観光学概論	担当教員	小熊 英国 直井 岳人 高橋 伸佳 崔 光雄
必修の区分	必修		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 1 クォーター		
講義内容	インバウンドツーリズムによる消費額が 4 兆 5189 億円（2018 年）となり、インバウンド消費額を輸出とみた場合、既に自動車、化学製品に次ぐ第 3 位の輸出額となっている。観光事業は国を支える産業の柱に成長したといえる。 この講義では、「グローバル」「イノベーション」「マーケティング」をキーワードに事例を紹介し、その事例がなぜうまくいっているのかを経営やマーケティングの理論を中心に紹介する。そして、興味が高まり関心が深まるようであれば、それを支える理論や学問についてより専門的に学ぶきっかけとして欲しい。低学年時に学ぶべき学問の気づきを示し本学における有意義な学生生活の道筋を示していくことをすることを目的とする。		
到達目標	1. 観光の効果とは何かを理解する 2. 観光の主要産業について理解する 3. 地域主体の観光事業について理解する ことを通じ、期待される人材になるためには何を学ぶべきかを考える。		
授業計画	1 観光学概論オリエンテーション（小熊） 2 観光学概論の概要（観光のマネジメント特性）（小熊） 3 ケーススタディ）JTB の旅行事業（高橋） 4 授業 3 の議論をもとに理論解説（従来型の旅行産業とビジネスモデル）（高橋） 5 ケーススタディ）楽天トラベルによるオンライン旅行販売（高橋） 6 授業 5 の議論をもとに理論解説（WEB マーケティングと旅行ビジネス）（高橋） 7 東京ディズニーリゾートの経営の凄さはどこにあるのか？（小熊） 8 JAL の航空・観光事業（小熊） 9 観光の概念とその定義（直井） 10 観光者の分類（直井） 11 観光需要の決定要因（直井） 12 観光地への影響（直井）		
事前・事後 学習	予習内容：授業で指示する箇所、内容について予習すること 復習内容：授業で指示する箇所、内容について復習すること		
テキスト	高橋一夫他編著『1 からの観光事業論』碩学舎、2016 年		
参考文献	北川宗忠編著『観光・旅行用語辞典』ミネルヴァ書房 2008 年		

成績評価 の 基 準	授業出席・発言等の態度 70%、期末レポート課題 30%
履修上の注意 履修要件	特になし
実践的教育	観光分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	